

大分大学教育学部同窓会(豊友会)大野支部便り

2023年7月

「研修会に参加しませんか」

豊育友会豊後大野支部

会長 久保田 正治

皆さんこんにちは。会員の皆様にはコロナも発生もあり、大変ご無沙汰しております。新型コロナウイルス感染症も5月8日から感染症法の「5類感染症」に位置づけが変更され、令和5年5月開始の追加ワクチン接種も始まり、社会全体がコロナ前の状況に戻りつつあります。

大分県育友会は5月20日(土)に大分市の教育会館で総会が開催され、鶴田、内野、原田、久保田の4名で参加しました。最初に古賀精治教育学部長の講演があり、より実践的で資質の高い教員を養成する5つの改革を進めることにより、大分大学が3年連続教就職率全国1位となり、全国唯一入学定員増を令和5年度から実現するなどの報告がありました。

また、武野太県教委教育次長からは、教育課題と県教委重点方針と芯の通った学校組織の説明がありました。具体的な目標を設定し、主任を核にした組織的取組みをすすめ、働き方改革、行事の見直し、オンライン化、会議や研修の整理、授業改善の徹底、ICTの効果的な活用などの説明がありました。そして3地域制度が3年間から2年間に短縮され、ミドルリーダーもこの制度が適応されるそうです。プレゼンテーションコンクールで菅尾小学校4年生が優秀賞を受賞したことや「地域を担う人づくりと活力ある地域づくり」では、地域から学校、学校から地域に出かける双方向の活動が推進されるというお話もありました。

総会では、福岡県代表から教員採用試験合格者が退職や休職する教員が多いという課題が発表されました。熊本県では教員不足の問題や統合で送迎することにより持久力が減少していること、秦会長からは時の流れを感じる3年間、教員の志望者不足、時間外労働など崇高な職場がブラックではないとの強い思いが語られました。

さて、豊友会は、地元大分大学教育学部の現職、退職者の同窓生で構成されており、今年で発足125年目の節目を迎えます。この会の目的の一つは母校大分大学教育学部の充実発展を支援すること、今一つは、会員相互の親睦や研修です。総会で秦会長が崇高であるべき職場がブラックになっていることの指摘や、福岡県では新採用者が1年で退職や休職すること等の報告があり、教育に関わってきた私たちにとって驚くことがたくさんありました。他の地域から豊後大野市に来られている先生方が多い教育現場ではどうなのか、大分大学卒業生として支援できることがあればと考えます。

令和4年度の支部会員は、現職26名を含む140名となっており、現職会員の未加入者の多いことが豊後大野支部の課題です。昨年度は、山田忠司校長先生から「子どもの安全な通学」、弓削直之校長先生から「小中一貫学校の現状」についてお話をいただきました。

今年は今職の方にも参加を呼び掛けて研修会を開催し、支部会員の親睦を深めたいと考えます。豊友会報の「お達者さん」コーナーに掲載された羽田野終良先生の歩んできた道のご講演を拝聴し、教育現場の今昔について先輩・後輩が一堂に会して団欒ができたらと思います。

コロナは無くなったわけではありません。厳しい暑さも予想されますので、ご自愛ください。

◎研修会のご案内

○期 日 2023年8月18日(金) 17時30分～19時

○場 所 豊後大野市教育会館

○講演内容

羽田野終良先生の歩んできた道（小学校時代、戦中戦後の生活、教員時代、退職しからの等）



羽田野終良先生



初めての教え子と（尾平中学校）



少年院での書道指導

◎2023年度(令和5年度)役員

*総会を7月15日に教育会館で行いました、役員は2年の任期（2022年に承認）になっています。

- 会 長：久保田正治（三重町）
- 副会長：靄田良人（朝地町） 原田睦枝（女性部 三重町）
- 事務局：内野貴文（退職者 三重町） 弓削直幸（現職者 朝地小中学校）
- 地区役員（各町の世話人）
 - ・野津町：亀井道雄
 - ・三重町：大林眞二
 - ・清川町：高山紀子
 - ・緒方町：三代誠子
 - ・朝地町：靄田良人
 - ・大野町：衛藤玲子
 - ・千歳町：廣末忠義
 - ・犬飼町：秦正也

（敬称略）

◎2023年度(令和5年度)会費(1,300円)納入のお願い

高齢化や会員の減少で本会（県・支部）の運営は予断できない状況が続いています。ご迷惑をおかけしますがご協力お願いします。

※現職の方は、勤務地での納入をお願いします。（県本部と確認しています。）

※退職して再任用等されている方は、地区での納入をお願いします。